

## JICA Brazil Business Communication

～ブラジルの第一線で活躍するビジネスパーソンの皆様へ～

### 目次

#### 1. 民間企業との連携

- (1) 第4回日系病院連携協議会！コロナ禍での遠隔医療について協議
- (2) フジタ・ニノミヤ短期講座！受講生のうち41名が本邦留学希望！

#### 2. トピックス

- (1) 今年は三角協力35周年！&JBPP20周年！
- (2) スキャナー貸与式！移民の功績を遺すため邦字紙等デジタル化！
- (3) 帰国ボランティアが皇室表敬！天皇皇后両陛下に活動報告！
- (4) mundi10月号は中南米特集！

#### 【コラム】～佐藤洋史所長がBand News TVに出演！JICA ブラジル事業について30分語る～

先週11月16日、国内4位の大手ネットワーク BAND テレビ局の30分番組「Capital e Mercado」（国内外の主要な課題についてBANDの記者と議論する番組。過去には州知事、公社総裁等参加）にて、JICA ブラジル事務所佐藤所長が出演しました。

番組では、セラード開発等過去の代表的な協力から、防災、アマゾン森林保全、USPとのフジタ・ニノミヤチェアの取り組み等幅広く紹介しました。全国版のニュース専門チャンネルで放映され、同テレビ局FB上で閲覧可能です。リアルタイムでお見逃しの方は、是非以下よりご覧下さい。

<https://m.facebook.com/BandNews/videos/capital-e-mercado-hiroshi-sato/4772753822765674/>



## 1. 民間企業との連携

### (1) 第4回日系病院連携協議会！コロナ禍での遠隔医療について協議

9月29日、第4回日系病院連携協議会が開催されました。これは、ブラジルの日系病院とJICA、そして日本企業との協力強化を目的に2018年から定期的を実施されている協議会です。本来であれば一堂に会して日系病院の施設内で行われる予定でしたが、コロナ禍を受けてこの度オンラインにて実施されました。第4回目となる今回は、新しくSBC病院も迎え、日系6病院が会しました。

協議では、コロナ禍の各病院の対応や取り組みの報告に加え、JICAの日系社会研修に参加した栄養士が推進する健康的な和食文化をブラジルに普及するプロジェクトの報告として、ブラジル人の舌に合った和食レシピの進捗共有がありました。また、ウィズコロナ・アフターコロナに伴い、院内のデジタル化や遠隔医療の分野に注力している病院が多く、遠隔診療や診断画像のクラウド化、医療関係者間コミュニケーションアプリの導入の関心が述べられると共にBI (Business Intelligence) やロボットを活用した病院経営の改善への期待についても言及されました。当方からは、既往協議会で要望のあった患者への質の高い医療サービス提供を目指す「おもてなし研修」が2021年度日系社会研修の一つとして新設された旨報告しました。

引き続きコロナが猛威を振るう中、JICAは感染症に強い社会を作るため、「予防、警戒、治療」に重点を置いた協力を進め、ブラジルでは日系病院もパートナーとして医療分野での連携強化に取り組みます。



日系6病院からの参加者



コロナ禍における遠隔医療の紹介

## (2) フジタ・ニノミヤ短期講座！受講生のうち 41 名が本邦留学希望！

7月～8月、サンパウロ大学（USP）法学部と明治大学法学部の共催によりオンラインでの「フジタ・ニノミヤチェア日本法短期講義」を実施しました。1回90分の講義を日本側5回、ブラジル側5回の計10回行い、ブラジル国内10州以上、国外は米国、英国、ルーマニア、アルゼンチン、中国等から、学生と社会人を含め1回あたり平均179名、最大274名の参加者を得ました。ブラジル側の講義は、MUFG ブラジル、三井物産ブラジルの協賛により実施し、在ブラジル日本国大使館山田彰特命全権大使、三井物産ブラジル佐藤真吾社長、USP 法学部二宮正人教授、JICA ブラジル事務所佐藤洋史所長等が登壇しました。

受講した学生及び社会人のうち 41名（日系人14名、非日系人27名）が本邦留学（大学院）の意思を表明し、本チェアプログラム運営委員会の選考により、2021年秋入学予定の留学候補者10名が選抜されています。

JICA ブラジル事務所と USP が先駆けて実施してきた本チェアの取り組みは全世界の JICA 事務所にも波及し、「JICA チェア」という名称の下、現在世界約 40 拠点で類似の活動が検討されています。



三井物産ブラジル佐藤慎吾社長による講義



MUFG ブラジルの紹介動画配信  
(JICA ブラジル事務所長講義内)

## 2. トピックス

### (1) 今年は三角協力 35 周年！ & JBPP20 周年！

日本とブラジルが「三角協力」を開始してから今年で 35 年目を迎えます。  
「三角協力」とは、日伯両国が連携して第三国に協力を展開することを言います。1985 年に初めての第三国での研修を実施後、更なる三角協力の推進を目的に「Japan Brazil Partnership Program (JBPP)」が 2000 年に両国間で締結されました。

三角協力では、日本がこれまでブラジルに対して行ってきた国際協力の成果を第三国に展開するケースも多いのが特徴です。JBPP の枠組みのもと、両国は衛生、保健医療、地域警察、アマゾン熱帯雨林保全、職業訓練等、多様なテーマで SDG s 達成に向けて全世界に向け協力を行ってきました。

日本から遠く離れた中南米やアフリカ諸国において、ブラジルを介して日本の技術・知見が域内の社会課題解決に資することを目指して、今後も両国の三角協力を促進します。



第三国研修員によるブラジル現場視察

### (2) スキャナー貸与式！移民の功績を遺すため邦字紙等デジタル化！

JICA ブラジル事務所とブラジル日本移民史料館は 10 月 28 日、同館にて「スキャナー貸与契約調印式」を行いました。式典では、ブラジル日本文化福祉協会石川会長と JICA ブラジル事務所佐藤所長との間で、スキャナーにかかる貸与契約書を締結し、同館に貸与したスキャナーをお披露目しました。今後、ブラジル日本移民史料館は本スキャナーを活用し、同館に保管されている約 40 万部（約 400 万ページ）に及ぶ邦字新聞や写真等をデジタル化し、保存していく予定です。

また、11月12日には、同館が中心となり「第1回日本移民資料館国際シンポジウム」を共催し、日本（JICA 横浜海外移住資料館を含む）、ブラジル、アメリカ、カナダ、メキシコ、ペルー、ボリビアの7カ国の資料館に登壇頂き、世界各国の日系移民資料館同士のネットワーク強化を図りました。



スキャナー貸与調印式

JICAは引き続き同館と連携して移民関連資料の保存・収集・活用、更には日系資料館同士の連携強化を促進し、日本人移民の功績を後世に遺すことを後押しします。

<参考リンク>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a0d61e8e9bfaa4f17a9fbc4933ea072edb36d0f8>

2020年11月14日付Yahoo!ニュース「《ブラジル》史料館＝JICAが大型スキャナー貸与＝邦字紙デジタル化等推進に＝山下委員長「本当にありがたい」」

### (3) 帰国ボランティアが皇室表敬！天皇皇后両陛下に活動報告！

9月18日、ブラジルでの活動を終了した日系社会海外協力隊員1名が赤坂御所において天皇皇后両陛下へ2年間の隊員活動報告を行う機会を賜りました。同隊員はブラジル北部の小学校で小学校教育隊員として活動し、日本語や日本文化、音楽などを通じて児童・生徒たちの日本に対する興味関心を高め、理解を深める活動を行いました。両陛下によるご接見は出発前の全ての海外協力隊員がその機会を賜り、帰国時においては特に目覚ましい活動を行った帰国隊員を対象に、懇談会形式で実施されています。

<参考リンク>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/192812759138d60fc8ed3a6f72285639aeaa80dc>

2020年9月18日付Yahoo!ニュース「両陛下、帰国の元青年海外協力隊員らと懇談」

#### (4) mundi10月号は中南米特集！

JICAの月刊広報誌「mundi」10月号は、中南米特集です。サッカー解説者のセルジオ越後氏のプロローグから始まる本紙は「日系社会とともに歩む」というサブタイトルのもと、ブラジル日本移民史料館やサンタクルス病院等での活動が分かりやすく取り上げられており、以下リンクからご確認頂けます。



mundi10月号（写真：小西威史）

<参考リンク>

<https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202010/index.html>

mundi10月号全文

[https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202010/202010\\_05.html](https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202010/202010_05.html)

mundi10月号ピックアップ「移民の歴史を未来に伝える ブラジル」

[https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202010/202010\\_07.html](https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202010/202010_07.html)

mundi10月号ピックアップ「日系病院の連携で社会全体の医療の質を上げる ブラジル」

以上

本紙では、ウィズコロナ、ポストコロナに向けて少しでも明るいお知らせが届けられるよう、内容の充実を図る所存でございます。つきましては、ご意見、ご要望等ございましたら、下記連絡先までご連絡いただければ幸いです。

引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

#### 【問い合わせ・連絡先】

国際協力機構（JICA）ブラジル事務所

担当：間瀬 将成

電話：(11)-3251-2655 (ex. 105)

Email：[Mase.Masanari@jica.go.jp](mailto:Mase.Masanari@jica.go.jp)